

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



『フットサル^{ワン}1デイスクールを開催』

3月26日(日)、大崎町総合体育館でフットサル(ミニサッカー)の1デイスクールが開催され、大隅地区から8チームが参加しました。大隅地区では現在、約40チームのフットサルの任意団体があり、その人口は、約400～500人とされています。

このスクールは、公式フットサルリーグの行われていない県内各地に普及させることを目的として開催しています。

この日は、鹿児島県サッカー協会からルールの説明や実際の試合運営・技術指導等が行われました。

『持留小学校へ図書費を寄付』

3月27日(月)、持留小学校出身の大村順一郎さん(千葉県在住)と原屋サチ子さん(有明町在住)が町長室を訪れ、図書購入にと持留小学校へ寄付をしてくださいました。

大村さんは「亡くなった母(大村ノシさん)の遺志で寄付させていただきました。持留小学校の図書購入費として役立ててください。」と話されました。

ありがとうございました。



『ハウスマンゴー^{つたえ}ただいま出荷中!』 平成18年産マンゴー収穫祭

4月10日(月)、下谷迫集落の中水流^{つたえ}さんが所有する農園でハウスマンゴーの収穫祭が行われ、関係者によるテープカットのあと、マンゴーの収穫を行いました。

本年度産のハウスマンゴーは昨年同様、開花期から肥大期にかけて好天に恵まれ、生育は順調で着色も良好。品質内容も糖度16度以上に仕上がっており、今年は13戸の農家が約26トンの生産を見込んでいます。



中水流さんは、昭和42年から露地みかんの栽培を始め、昭和52年にはハウスマンゴーに転換。また、計画的に増反を行い施設面積106アールにまで規模拡大。平成13年には後継者へ面積の半分を経営譲渡し、労力配分を行っています。

ハウスマンゴーは平成12年に導入し、今年で4回目の収穫となり、日々、栽培管理・品質向上等に努めていらっしゃいます。

現在、そお鹿児島農協果樹部会のリーダーとして活躍されています。



▲園主の中水流傳さん・ヨシ子さん夫妻